●毎月第2・4木曜日発行 ●編集と発行 能代市市民まちづくり支援課 〒016-8501 秋田県能代市上町1-3 TEL0185-89-2147 ●印刷 ㈱大潟印刷

R100 100%再生紙を使用しています。
PRINTED WITH SOY INK 環境にやさしい大豆油インキを使用しています。

はじめよう協働のまちづくり No.12

常盤・檜山・鶴形地域づくりセミナー
～地域間連携の強化を～

このたび、常盤・檜山・鶴形の各まちづくり協議会による地域づくりセミナーが開催されました。３地域では、住民の視点から暮らしやすい地域づくりを行っていこうと、それぞれの地域の特色を生かしたさまざまな活動を展開してきました。しかし、各協議会の間で交流の機会はそれほど多くなく、それぞれの活動内容を知る機会もこれまではありませんでした。

今回のセミナーでは、各地域で行われている活動を報告し合い、情報交換を行うことで、お互いの活動に理解を深めることができました。また、各地域の現状を紹介していく中で、３地域には「少子高齢化の進行による地域の空洞化」、「米価の下落による農業への先行き不安」という共通する課題があることが浮き彫りになりました。

最後に、セミナーのコーディネーターを務めた荒樋豊教授（秋田県立大学短期大学部）は、「３地域は、それぞれ個性ある地域活動を行っているが、抱えている課題は共通している。高齢化は、５年後、10年後にはさらに進み、今よりもっと苦しい状況になっていく。今後、さまざまな局面で手を結んでいくことが必要ではないか」と連携の必要性を訴えました。

まちかど ウォッチング

今年の冬も頑張ります！

12月2日㈮、雪の季節に向けて、除雪車出動式が行われました。市民の皆さんが安心して、安全に通行できるようにと決意を新たにしていました。

ユニカールinのしろ

12月4日㈰に開催され、年齢・性別を問わずたくさんの人がニュースポーツ「ユニカール」を楽しみました。

のーろ逍遥 歴史と民俗のあいだ 84

農林の記憶(四) 「中川原・野口伊治郎」

中川原・稲荷神社に「野口伊治郎翁之碑」「越前彦蔵大人之碑」「藤田成房頌徳碑」の三基が建っています。いずれも中川原を今日のように変貌させた人たちです。中川原については開墾の歴史をたどらねばなりません。中川原はもともと米代川の河川敷でしたから、誰の所有地でもありませんでした。明治九年の地租改正のときに、第三種官有地に編入されました。しかし地味の豊かなところですから、誰となく開墾の手が入り、耕地に変わっていきました。ついに明治十八年に野口伊治郎を筆頭に二十六人が十六町歩の官有地拝借願を出しました。桑畑七町歩・畑作物植付地五町歩のほか、芋・楮などの植付地を挙げています。町の有力者も後援しましたが、不許可となりました。しかし野口らはあきらめず、二十年には五十六町歩余の払下願を県知事宛に提出し、能代港町で県から無料拝借するとその小作権を得ました。その後も紆余曲折をたどり、昭和二十三年にその小作権が満期となって、ようやく農民たちの所有権が確定しました。その間の野口の活動が実ったのです。

野口は万町の荒物商でしたが、中川原の養蚕業に着目して、運動に尽力しました。実直な人だったと言います。

（古内龍夫）